

Recreation



研究フォーラム

今大会は、開催地である兵庫県レクリエーション協会の企画、公認レクリエーション指導者団体・全国の地域協会からの発信企画、日本レクリエーション協会及び日本レクリエーション協会と関係団体とのコラボレーションしたセッション、公認レクリエーション指導者からの公募セッションを実施します。

各セッションに定員を設けておりますので、お早めにお申し込みください。

(受付は先着順とさせていただきます)

セッション No.1～No.34 (12～23ページ)

日本レクリエーション協会企画	No.1～3
全国の地域協会からの発信企画	No.4～5
課程認定校研究連絡会議企画	No.6～7
レジャー・レクリエーション学会コラボ企画	No.8
日本音楽療法学会コラボ企画	No.9～10
全国スポーツ推進委員連合コラボ企画	No.11
日本パラスポーツ協会コラボ企画	No.12
全国レク・コーディネーター・ネットワーク企画	No.13～15
全国福祉レクリエーション・ネットワーク企画	No.16～18
兵庫県レクリエーション協会企画	No.19～23
公募セッション	No.24～34

研究フォーラムの申し込み方法

研究フォーラムのセッション1～34(12～23ページ)と会議(24ページ)に参加を希望される方は、6～8ページ及び34ページ以降の申し込み方法に従って、各開催日の「研究フォーラム」「会議」にお申し込みください。

△注意

同一時間帯に開催される複数のセッションに申し込むことや、同一開催日に行われるスポーツ・レクリエーション交流大会、ウォークラリー大会に重複して申し込むことはできません。セッションの詳細は、次のページからの内容をご参照ください。社会状況によっては、一部中止や変更になる場合がありますこと、ご了承ください。

各セッションの概要

日本レクリエーション協会企画

1 今こそ求められる心の元気づくり ～レクリエーション支援の心理学的根拠～

セミナー

本セッションは、レクリエーション支援が大切にしている「楽しさをとおした心の元気づくり」が心の仕組みに基づくものであることを、専門的な角度から解説いただき学習します。

良好な集団の中で満たされる欲求、レクリエーション活動をおとした「楽しさ」がもたらす心理的効果、自己効力感を高め自主的主体的に心を元気にできるようなかわり方について心理学的根拠と結びつけることで、レクリエーションの果たす役割や可能性を明確にしましょう。

日 時 9月18日(日) 13:00～15:00

参加対象 レクリエーション指導者、レクリエーション・インストラクター養成に携わっている方

定 員 40名

講 師 安永 明智 氏(東京都:文化学園大学教授)

日本レクリエーション協会企画

2 まるわかり! レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度解説 ～レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度って何? を解消～

セミナー

日本レクリエーション協会では、2018年度より、レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度を開始し、5つの階梯を設定しています。それぞれの階梯において、申請要件・認定要件が設けられており、「実践力」「講師力」「講師育成力」の3つの力を高めていくことが求められます。楽しさをとおした心の元気づくりの実践ができる力、根拠となる理論での裏付けをわかりやすく確実に伝えることができる力、講師を育成する力を持った人材の拡大により、レクリエーションの輪が広がることを目指しています。

本セッションでは、この3つの力を高めるためのポイントと、理論と実技を結び付けながらレクリエーション支援の方法を解説する方法を紹介します。

日 時 9月19日(月) 10:00～12:00

参加対象 レクリエーション指導者、講師を目指す人、講師育成担当者

定 員 40名

講 師 津幡 佳代子 氏(公益財団法人日本レクリエーション協会 事業部 専門職)

日本レクリエーション協会企画

3 オンラインによる楽しいレクリエーション活動 ～ICTを活用したレクリエーション活動の体験～

ワークショップ

レクリエーションは人と人とのコミュニケーションが基本であり、それを実感する活動の体験が欠かせません。しかしながら、コロナ禍においては対面のリアルに体験する機会は減少し、感染予防対策を講じて実施できたとしても、活動の種類も制限せざるを得ない状況にあります。その一方で、オンライン研修などによるICTの利用の拡大により、レクリエーション活動もオンラインを活用した活動の需要が増えています。

本セッションは、Zoomなどを活用したオンラインでのレクリエーション活動の特徴や展開の方法を具体的にご紹介するとともに、実際にオンラインでの活動を体験いただけます。

日 時 9月18日(日) 10:00～12:00

参加対象 レクリエーション指導者、レクリエーション支援を担う方

定 員 40名

講 師 中井 聖 氏(京都府:大阪電気通信大学教授/レク・コーディネーター 他)

備 考 オンラインでの活動を体験いただけますので、スマートフォン、タブレットまたはノートPCとマイク付きヘッドフォンをお持ちの方はご持参ください。

4

「県民みんながレクリエーションを実践するミナレク運動」
～岐阜県とともに取組んできた成果と今後の展開について～

実践活動報告

平成28年に開催した「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」のレガシーとして、平成29年より岐阜県とともに「ミナレク運動」を推進している。この運動は「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」に中心的に位置づけられ、県民の健康づくりや生きがいづくりのため、令和7年に岐阜県で開催する「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」に向けて、さらに推進を図っていくこととしている。

このセッションでは、「ミナレク運動」のこれまでの取組みと今後の展開について、岐阜県と（一社）岐阜県レクリエーション協会が共同して発表するとともに、令和4年から新たにスタートした「ミナレク運動調査研究事業」の実践状況について報告し、全国のレクリエーション関係者、行政、関係団体機関と共有することで、全国的なレクリエーション運動の推進に寄与することをねらいとして実施する。

日時	9月18日(日) 15:30～17:00	参加対象	地域レクリエーション協会関係者、レクリエーション指導者、行政関係者
定員	40名		
コーディネーター	竹本 康史 氏（一般社団法人岐阜県レクリエーション協会副会長、岐阜県レクリエーション推進校連絡協議会会長、岐阜聖徳学園大学教授）		
事例説明	岐阜県清流の国推進部ねんりんピック推進事務局		

5

お悩み解決! コロナに負けない!
ここからだを元気にするレクリエーション

ワークショップ・
実践事例報告

皆さんは三密を避けながら、どのような楽しいレクリエーション支援をしていますか？

「大阪府レクリエーション・コーディネーター会」と「福祉レクリエーション・ネットワーク大阪」ではコロナに負けない気持ちで、日々、新しいレクリエーションのあり方を探っています。

これまで、両団体は、大阪府レクリエーション協会と協力しながら「子ども元気アップセミナー」「高齢者元気アップセミナー」など様々な活動に取り組んでまいりました。本セッションでは、これまでの活動をもとに『新しい生活様式』に合わせてアレンジしたレクリエーション活動を提案します。

その後、参加者の皆さんと、さらに現場で活用できるようにアイデアを共有したいと思います。「こんな今だからこそ！」みんなで新しい支援方法を考えてみませんか？

日時	9月19日(月・祝) 10:00～12:00	参加対象	レクリエーション支援者、子ども教育に関わる方、高齢者レクリエーション支援に関わる方、本セッションに興味・関心のある方ならどなたでも
定員	40名		
講師	大阪府レクリエーション・コーディネーター会 福祉レクリエーション・ネットワーク大阪 浅田 昌子 氏（大阪府：大阪府レクリエーション協会公認講師／レク・コーディネーター／スポーツ・レクリエーション指導者／福祉レク・ワーカー／準上級レク・インストラクター） 小坂 美保 氏（大阪府：神戸女学院大学准教授／レク・コーディネーター／準中級レク・インストラクター） 木下 ちづ代 氏（大阪府：大阪府レクリエーション協会公認講師／レク・コーディネーター／スポーツ・レクリエーション指導者／準上級レク・インストラクター） 時森 美智子 氏（大阪府：大阪府レクリエーション協会公認講師／レク・コーディネーター／福祉レク・ワーカー／スポーツ・レクリエーション指導者／上級レク・インストラクター）		

6

レクリエーション教育実践・研究発表

課程認定校研究連絡会議企画

研究発表

令和3年度課程認定校研究連絡会議研究助成を受託した研究を中心に発表する予定です。

●現在予定されている発表（発表の順番は変更することがあります）

- 大橋 信行 氏（帝京大学）／授業教材としてのオンライン・ウォークラリーの可能性
- 佐近 慎平 氏（新潟医療福祉大学）／幼児の高這い走を発達させる運動遊びの環境構成要素の研究
- 中井 聖 氏（大阪電気通信大学）／実際の試技データを利用したシミュレーションから得られたラダーゲッターの成功試技の条件と支援方法
- 樋口 博之 氏（九州保健福祉大学）／宮崎県におけるレクリエーション課程認定校と県協会との共催イベントの試み
- 金 美珍 氏（埼玉純真短期大学）／女子大学生における余暇動機や健康信念がCOVID-19による余暇行動の変化に及ぼす影響
- 山本 存 氏（甲南女子大学）／VRの可能性～レクリエーション実技における活用を考える～
- 久保 和之 氏（龍谷大学）／レクリエーション教材としての投網
- 小林 梨紗 氏（聖徳大学）／コミュニケーションに着目した音楽レクリエーションの学習が学生の保育者効力感に及ぼす影響
- 南條 正人 氏（仙台大学）／福祉入所施設のケアプラン（施設サービス計画）における余暇支援の現状
- 古田 康生 氏（岐阜協立大学）／レクリエーション人材育成のためのカリキュラム開発の試行～地域レク協会の事業学生の地域事業イメージを基にした育成カリキュラム開発のための基礎調査～
- 本多 理紗 氏（札幌国際大学）／積雪期における健康体操教室の継続要因の検証～場で感じる楽しさとつながりに着目をして～
- 大家 千枝子 氏（高崎健康福祉大学）／課程認定校学生による種目団体紹介動画制作の成果と課題～群馬県レクリエーション協会と高崎健康福祉大学による合同プロジェクト実践報告～

※発表は変更になる場合があります。オンライン発表となる場合もあります。

1題につきトータル10分（質疑応答3分含む）の発表を予定しています。

日 時 9月18日(日) 13:00～15:30

参加対象 課程認定校におけるレクリエーション科目担当教員・事務担当教職員／本セッションに興味のある方 等

定 員 40名

講 師 高山 昌子 氏（大阪府：大阪国際大学／課程認定校研究連絡会議全国幹事）
竹森 裕高 氏（佐賀県：西九州大学短期大学部／課程認定校研究連絡会議全国幹事）

課程認定校研究連絡会議企画

7

課程認定校研究連絡会議の“これまで”と“これから”

鼎談

～課程認定校で目指すレクリエーション公認指導者育成～

専門学校や短期大学、大学でレクリエーション指導者養成課程を担う、課程認定校の代表が集まった会が「課程認定校研究連絡会議」となります。この会での活動の“これまで”について仲野隆士氏に前幹事長の立場から、そして新幹事長岡山千賀子氏に“これから”についてそれぞれお話を頂きます。

その後、参加されるフロアの方々からの質問も交えて「これから課程認定校で育成する指導者像」を見つめていきたいと思えます。

課程認定校における指導者育成でも、都道府県のレクリエーション協会との連携は重要なこととなっています。多くの方々に参加いただき、活発な議論の場が創造できればと思っています。

日 時 9月18日(日) 16:00～17:00

参加対象 課程認定校におけるレクリエーション科目担当教員・事務担当教職員／本セッションに興味のある方 等

定 員 40名

講 師 岡山 千賀子 氏（徳島文理大学／課程認定校研究連絡会議幹事長）
仲野 隆士 氏（仙台大学／課程認定校研究連絡会議顧問）
築山 泰典 氏（福岡大学／課程認定校研究連絡会議監事）

8

レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラムの構築と今後の活かし方

パネルディスカッション

レジャー・レクリエーションを「学問」として捉えて、内容を深め、広く普及していくためには、「新たな知の創造：研究」、「創造された知の活用：実践」、「創造された知の継承：教育」という3つの役割が必要です。

レジャー・レクリエーション学の場合には、それらを「日本レジャー・レクリエーション学会」、「日本レクリエーション協会」、「課程認定校研究連絡会議」が担ってきましたが、レジャー・レクリエーション学を発展させるためには、これら三者の連携がとても重要です。

これまでの三者連携の試みの中で、教育の中核となる「モデル・コア・カリキュラム」作成の必要性が確認され、「レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム作成ワーキンググループ」が設置され、モデル・コア・カリキュラムが作成されました。

本セッションでは、カリキュラムの内容を紹介し、これからのレクリエーション支援への活かし方について、皆さんと意見交換を行います。

日時 9月18日(日) 10:00～12:00

参加対象 課程認定校教員/日本レクリエーション協会公認指導者/レジャー・レクリエーション学会関係者/本セッションに興味・関心のある方 等

定員 40名

コーディネーター 田中 伸彦 氏(東京都:東海大学教授/日本レジャー・レクリエーション学会常任理事)

パネリスト 松尾 哲矢 氏(東京都:立教大学教授/公益財団法人日本レクリエーション協会理事/日本レジャー・レクリエーション学会理事)

涌井 忠昭 氏(大阪府:関西大学教授/課程認定校研究連絡会議特任幹事/日本レジャー・レクリエーション学会理事)

マーレー 寛子 氏(滋賀県:小羊会会長/公益財団法人日本レクリエーション協会理事/日本レジャー・レクリエーション学会理事)

日本音楽療法学会コラボ企画

9

音楽と祈り

～私たちの心を満たすレク・音楽療法～Part1

講演・ワークショップ

コロナ禍に入り、多くの音楽活動がストップした中で、私たち「音楽の森」は、地元である奈良の自然や寺社で音楽を捧げる活動を続けてきました。本来音楽は、人々の祈りの中から神仏に奉納するものとして生まれました。コロナ禍でも自分が生かされ、歌えることに感謝する。私たちは、音楽の原点に立ち返ることで、新しい活動を生み出すことができました。

そして今、私たちはウクライナでの動乱を目の当たりにして、改めて命について考え、自分が生かされていること、そして、なすべきこと、使命があることに気づかされます。戦時下から逃れてくる人たち。東日本大震災の時もそうであったように、少し時間が経ってから、音楽で人の心を満たし、気持ちを前向きに、心身ともより健康に導いていく活動が必要になるでしょう。

このセッションでは、ご縁で繋がった人々や地域を尊重し、音楽・歌を介して交流・支援する活動を提案します。そして、この混迷な時代のレク、音楽療法の役割についても考えてみたいと思います。

日時 9月18日(日) 10:00～12:00

参加対象 音楽や歌の指導をしている方。レク活動の中で音楽や歌を活用している方、等

定員 40名

講師 荒井 敦子 氏(奈良県:声楽家/日本音楽療法学会認定音楽療法士/NPO法人音楽の森理事長)

※大阪音楽大学声楽科卒業後、放送・教育方面の職歴、難民キャンプや障がい者施設でのボランティア経験を活かし多彩な音楽活動を展開。まっぼっくり少年少女合唱団を結成し、世界の都市での合唱指導や公演を通じた国際交流、また県下のわらべ歌採譜に尽力し、町と村の交流に努めている。

日本音楽療法学会コラボ企画

10

音楽と祈り

～私たちの心を満たすレク・音楽療法～Part2

講演・ワークショップ

No.9と同じ内容で実施します。

日時 9月18日(日) 13:00～15:00

参加対象 音楽や歌の指導をしている方。レク活動の中で音楽や歌を活用している方、等

定員 40名

講師 荒井 敦子 氏(奈良県:声楽家/日本音楽療法学会認定音楽療法士/NPO法人音楽の森理事長)

11 多様な主体が参画できるスポーツ・レクリエーションの機会創出 ～スポーツ推進委員と地域組織や指導者との連携～

実践報告

昨年12月に第3期スポーツ基本計画（中間報告）がまとめられ、その中で、スポーツを「つくる／はぐくむ」新たな視点として、「多様な主体がスポーツを楽しむために、日常生活の中で気軽にできる運動・レクリエーションの実施、状況や環境の変化に応じた柔軟な実施方法や大会等参加資格の設定、ルールの変更・工夫など、スポーツに関わる人がそれぞれの状況・事情等にあわせ、最も適切な手法・態様を取り入れることが重要」である旨が盛り込まれました。

そこで、スポーツ推進委員と地域の様々な団体や指導者が協働し、レクリエーション活動や既存のスポーツにとらわれない新しい取り組みを行っている地域の実践報告を行い、性別、年齢、障害の有無等に関係なく、誰もがスポーツ楽しむためのしくみづくり、機会の創出などを考えます。

日 時	9月18日(日) 10:00～12:00	参加対象	スポーツ推進委員、障がい者スポーツ指導員、レクリエーション指導者、スポーツ行政関係者等
定 員	40名		
コーディネーター	細矢 隆義 氏(東京都:公益社団法人全国スポーツ推進委員連合事務局長)		
実践報告	砂橋 昌義 氏(広島県:特定非営利活動法人ひろしまレクリエーション協会 理事長/広島市スポーツ推進委員協議会理事) 山神 卓海 氏(兵庫県:姫路市スポーツ推進委員)		

12 パラスポーツからユニバーサルスポーツへの展開

ワークショップ+展示

東京2020パラリンピック競技大会を契機に多種のスポーツが紹介され、体験する機会が増え、パラスポーツへの興味関心が高まっています。その中でも「ポッチャ」の好感度は高く、地域（高齢者施設、老人会、企業など）での活動や小中高등학교では授業の一環で導入されています。

また、サッカーは幅広い年齢層で人気が高いスポーツですが、「サッカー」から創造するスポーツにレクリエーションとしての可能性を引き出すことも容易です。

今後のレクリエーション活動の実践には、工夫や理解が鍵を握ります。具体的には、「用具と施設/ルール/サポート」の3点をどのように工夫したら「ユニバーサルスポーツ」として、楽しく、安全に取り組むことができるかを考えながら、チャレンジしてみましょう。

日 時	9月18日(日) 13:00～15:00	参加対象	レクリエーション指導者/スポーツ推進委員/障がい者スポーツ指導員/教員など
定 員	40～50名		
コーディネーター	増田 和茂 氏(兵庫県:兵庫県障害者スポーツ協会専門員)		
講師	岡田 正幹 氏(兵庫県:日本パラスポーツ協会障がい者スポーツ指導員、兵庫県スポーツ推進委員) 三上 善子 氏(兵庫県:日本パラスポーツ協会障がい者スポーツ指導員、兵庫県スポーツ推進委員)		
アドバイザー	※車いすユーザー、視覚や肢体不自由等の障がいがある方		

13 レク・コーディネーターは今 ～コロナ禍での実践をとおして～

実践事例発表

コロナ禍が始まって2年余り。事業や活動が今まで通りに取り組めず、現場で求められるレクリエーションは大きく変化してきています。それに合わせて、人、モノ、レクリエーション素材をアレンジして提供するためのスキルが求められるようになりました。今まさにコーディネーターとして力を発揮しなければならないときではないでしょうか～

コロナ禍でもレクリエーション活動の良さを失わないために、実践報告をもとに「子どもの体験活動」「高齢者の介護現場」「地域での活動」における工夫を体験しながら学びます。

レクリエーション活動の体験の機会を「ゼロ」にしないためにも、これらの工夫をそれぞれの現場に活かしていただき、今後のレクリエーション活動の種をお伝えします。

参加者はタオルを1枚持参してください。

日 時	9月18日(日) 10:00～12:00	参加対象	レクリエーション指導者/本セッションに興味・関心のある方
定 員	40名		
コーディネーター	鎌谷 眞里子 氏(鳥取県:全国レク・コーディネーター会理事/鳥取県レクリエーション協会事務局長/レク・コーディネーター)		
講師	松木 紀子 氏(愛媛県:全国レク・コーディネーター会副会長/特定非営利活動法人愛媛県レクリエーション協会理事・事務局長/レク・コーディネーター) 奥田 祐子 氏(広島県:全国レク・コーディネーター会理事/特定非営利活動法人ひろしまレクリエーション協会副理事長/レク・コーディネーター)		

14 「SDGsの視点で考えるこれからのレクリエーションとは」

ワークショップ・実践報告
他

企業やメディア、テレビ番組でも特番を組まれている「SDGs」を皆さんはどこまでご存知ですか。「SDGsは聞いたことがある」「SDGsの読み方がわからない」「詳しい内容はわからないが何気なく理解している」「全く理解できていない」など、バラバラなのが現状です。SDGsを「他人事」でなく「自分事」として捉えることが大切なのです。

また、SDGsを推進していくうえで、「レクリエーション」が有効的かつ効果的であることをご存知ですか。これまでも、レクリエーション活動の楽しさは、人々にコミュニケーションを促進し、前向きな姿勢・行動を引き出し、人の心を元気にしてきましたが、さらにSDGsの視点に立って、これからのレクリエーションを考えることも大切です。

このセッションでは、SDGsの「なぜ？」と「なに？」を解説し、皆さんでSDGsの視点で「レクリエーション事業」を創ることで、これからのレクリエーションを考えてみましょう。

日 時	9月18日(日) 13:00～15:00	参加対象	レクリエーション指導者/本セッションに興味・関心のある方
定 員	40名		
コーディネーター	松木 紀子 氏(愛媛県:全国レク・コーディネーター会副会長/特定非営利活動法人愛媛県レクリエーション協会理事・事務局長/レク・コーディネーター)		
講師	松田 義政 氏(山口県:全国レク・コーディネーター会理事/一般社団法人山口県レクリエーション協会専務理事・事務局長/レク・コーディネーター)		

15 レクリエーションをコーディネートする専門家とは ～あなたの目指すコーディネーター像～

ワークショップ

ここ数年で、レク・インストラクターのスキルアップ制度が整備され、中級・上級レク・インストラクターの指導者としての役割が明確になりつつあります。

このような状況において、レクリエーションの奥深さを理解し、レクリエーション活動を活発に展開するために、また、地域に根差した活動を展開するために、さらには後継者を育成するためにマネジメントしていくことが「レク・コーディネーター」の重要な役割である、と私たちは考えています。

このセッションでは、「レク・コーディネーターの役割とは何か」、「レク・コーディネーターの専門性とは何か」、「私たちの存在意義とは何か」、「全国各地のレク・コーディネーターが今実践している内容は何か」等、テーマに沿った議論を重ね、レクリエーション指導者としての役割の根幹をつかみ、本質的な問題に迫ることを目指しています。

日 時	9月18日(日) 15:30～17:00	参加対象	レクリエーション指導者/本セッションに興味・関心のある方
定 員	40名		
コーディネーター	奥田 祐子 氏(広島県:全国レク・コーディネーター会理事/特定非営利活動法人ひろしまレクリエーション協会副理事長/レク・コーディネーター)		

16 障がい児・者に向けたレクリエーション ～感覚と運動を育む遊びとその関わり方を学ぼう～

ワークショップ

2012年に児童福祉法が改正されたことをきっかけに、放課後等デイサービスなど障がい児福祉サービスへの民間事業者の参入が増え、利用者も急増しています。しかし、高齢者に対する福祉サービスに比べれば、障がい児・者に対する福祉サービスへの関心はまだ高くありません。

本セッションでは、知的障がい・発達障がい児等、運動の不器用さが気になる子への支援に役立つ遊びのアイデアやその関わり方について体験学習します。日々の活動の中にある感覚統合の要素に気づき、その要素を活かしながら、素敵な遊び活動を創造していく支援ができるよう、一緒に学びましょう！障がいのある子どもたちへの関わりにちよっぴり自信が生まれるはずです。

日 時	9月18日(日) 10:00～12:00	参加対象	レクリエーション指導者/障がい児・者の活動に携わっている方/本セッションに興味・関心のある方 等
定 員	50名		
講師	太田 篤志 氏(兵庫県:株式会社アニマシオン代表取締役/プレイジム代表/姫路獨協大学客員教授/日本感覚統合学会理事/日本自閉症スペクトラム学会常務理事/作業療法士)		
コーディネーター	田島 栄文 氏(兵庫県:名古屋経営短期大学教授/全国福祉レクリエーション・ネットワーク事務局長/福祉レク・ワーカー)		

17 要支援・要介護高齢者に向けたレクリエーション・プログラム

ワークショップ

介護予防および認知症予防という言葉は、今日、日常生活の中でごく普通に使われるようになりました。健康寿命の延伸が課題となるなか、この社会状況のもとで、自宅待機による「フレイル（虚弱）」、「ロコモディブシンドローム（運動器症候群）」および「サルコペニア（加齢による筋肉量減少）」が特に心配されています。人生の最後まで、心と体が元気であるためのレクリエーション支援にはさまざまな考え方や、やり方があります。本セッションでは、要支援・要介護高齢者に対するレクリエーション支援を考え、その身体的・精神的な特徴に配慮した素材の選び方、提供の仕方、またプログラムの立案の仕方、特に配慮している点などを、体験を交えながら学び合います。

日時 9月18日(日) 13:00～15:00
定員 50名

参加対象 レクリエーション指導者/介護職等、介護現場で働く方/地域で高齢者の活動に携わっている方/本セッションに興味・関心のある方 等

講師 杉浦 史晃 氏(神奈川県:ふれあいサポート研究所代表/全国福祉レクリエーション・ネットワーク副代表/福祉レク・ワーカー)

コーディネーター 満井 忠昭 氏(大阪府:関西大学教授、全国福祉レクリエーション・ネットワーク副代表/福祉レク・ワーカー)

18 認知症のある方への評価方法
～レクリエーション支援のための活用～

ワークショップ

本セッションでは、近年発表された新しい認知症の重症度の評価方法“ABC認知症スケール”をご紹介します。このスケールの特徴は、①簡便かつ短時間で評価できる、②専門医や臨床心理士でなくても測定できる、③認知機能、行動・心理症状、日常生活動作を同時に評価できる、④認知症のスクリーニングのみならず、治験を含む臨床研究で使える、という点であり、医療や介護の質の向上に役立つものです。

この新しいスケールを活用したレクリエーション支援方法もご紹介します。皆さまの現場がより豊かになるよう学んでみませんか。

日時 9月18日(日) 15:30～17:00
定員 50名

参加対象 レクリエーション指導者/認知症予防事業に携わっている方/本セッションに興味・関心のある方 等

講師 菊池 隆 氏(兵庫県:医学博士、統計学博士、TRI 上席研究員)

コーディネーター 荒深 裕規 氏(愛知県:日本福祉大学社会福祉総合研修センターコーディネーター/全国福祉レクリエーション・ネットワーク代表/福祉レク・ワーカー)

19 アイスブレイキングの手法

ワークショップ

アイスブレイキングの指導展開は、むりなく・むだなく・ころよく 自己表現を可能にする条件を整えることです。出会いにおける「知らない人の前では話すのが怖い」「ひとの輪に入りたくても、声かけられない」という人、NHKネットクラブアンケートで「人見知り」と回答した人が64%もありました。レク指導者の私たちは「アイスブレイキング」・「はじめまして」と題して人と人との出会いを演出する技術を磨いてきました。日レクではアイスブレイキングは、集団を介した支援の領域で、「人と人との出会いを演出する」ことと位置付けました。そのための手順として、3段階が示されています。導入・交流・自己表現です。

このことをわかりやすくすると参加者に無理強いしないで、あらかじめ定められて計画により時間的に無駄がなく・目的に向かって進む無駄のない展開で、参加者は快くそれを受け入れていく否定的・閉鎖的な状況がなく進む取り組み姿勢で、自らが対人との関係で自分を表現することに抵抗なく展開できることを考えて、合言葉として「無理なく」「無駄なく」「快く」「自己表現を可能にする」と考えました。

日時 9月18日(日) 15:30～17:30
定員 50名

参加対象 レクリエーション指導者/本セッションに興味・関心のある方

講師 宇田川 光雄 氏(東京都:前目白大学児童教育学科・子ども学科非常勤講師/紙人形劇団「ダンパに乗ったクマ座」主宰)

兵庫県レクリエーション協会企画

20 「未来を創るレクリエーション」

パネルディスカッション

少子・高齢化社会の今、子どもが群れて遊ぶ姿や親子・家族で多様な遊びの姿を見かける機会を日常化し、また、長寿社会をいきいきと生きるシニア世代が社会で活躍する姿を描いたとき、レクリエーションを欠かすことができない。さらに、コロナ等の疫病流行時や自然災害下でのレクリエーションの有効なありかたが求められる。そこで、このシンポジウムでは、明日の社会を見据えたレクリエーション活動の在り方を模索する。

日時 9月18日(日) 13:00～15:00 **参加対象** レクリエーション指導者/本セッションに興味・関心のある方
定員 40名
コーディネーター 山口 徹氏(兵庫県:元兵庫県教育委員長/元神戸YMCA総主事)
パネリスト 濱田 英世氏(兵庫県:特定非営利活動法人やんちゃんこ代表理事)
 マーレー 寛子氏(滋賀県:子羊会会長/公益財団法人日本レクリエーション協会理事/日本レジャー・レクリエーション学会理事)
 他

兵庫県レクリエーション協会企画

21 姫路城の真実

公開講座・講演

1993年(平成5年)、奈良の法隆寺とともに日本で初めての世界遺産に登録された国宝「姫路城」。全国に比類のない木造つくり5層7階建ての櫓と天守からなり、白漆喰で固められた城壁はその美しさから別名「白鷲城」とも呼ばれており、土木建築家や城郭研究家のみならず世界中の姫路城ファンの心を虜にしております。

現在の姫路城は、江戸時代初期1609年(慶長14年)当時の城主池田輝政によって改築されたもので、「不戦の城」として今日まで戦火にさらされることなく当時の姿を残しております。古い史跡ゆえに姫路城には数々の言い伝えが残っており、徳川家康の孫娘でもある悲運の姫「千姫」が暮らした「化粧櫓」、宮本武蔵の城内妖怪退治、怪談話でおなじみ播州皿屋敷の「お菊井戸」の伝説。そんな姫路城がなぜ播州の地にできたのか等「姫路城の真実」と題し、地元姫路生まれの郷土史研究家中元孝迪氏からご講話をいただきます。

日時 9月18日(日) 10:00～12:00 **参加対象** 姫路城の歴史に興味関心をお持ちの方ならどなたでも
定員 200名
講師 中元 孝迪氏(兵庫県:兵庫県立大学特任教授/播磨学研究名譽所長/元神戸新聞社論説委員長)

兵庫県レクリエーション協会企画

22 紙でつくろう

ワークショップ

手や手先を使うことは、子どもからシニア世代まで大切なことです。脳の活性化につながります。折り紙や色画用紙を使って、ペーパークラフトにチャレンジしましょう。出来るかなと躊躇するより、やってみようと思う意欲が大事です。

日時 9月18日(日) 13:00～15:00 **参加対象** 興味がある方ならどなたでも
定員 20名
講師 神戸市レクリエーション指導者クラブ

兵庫県レクリエーション協会企画

23 学校とレクリエーション

セミナー

よく学びよく遊べと言われたものです。子どもにとって遊びは教科学習や食事をとることと同じくらい大切なことです。創造力や好奇心、達成感、チャレンジ精神、いたわりの心、協調性などを養い一人ひとりを認め合い、協力することや協働することにつながります。

学校でレクリエーションを活用してクラス運営に活かし、子どもたちの目が輝く姿を作りましょう。教師として子どもたちの活動の指導者として、新たな視点を模索してみませんか。

日時 9月18日(日) 15:30～17:00 **参加対象** 教員、学校関係者、興味がある方ならどなたでも
定員 30名
コーディネーター 前川 一彦氏(兵庫県:元小学校長)

公募セッション

24 心の元気を育む音楽レクリエーション

～歌って、語って、癒されて～

ワークショップ

コロナだからこそ楽しい時間の共有が求められます。日常生活の中にある音楽レクリエーションの楽しさを掘り起こすとともに、音楽レクリエーションの活用法について、楽しく体験していただくプログラムです。

- (1) みんなで楽しく歌って、心の元気を実感していただきます。懐かしい歌、クラシック、ポピュラー、童謡、朝ドラのテーマ曲などなど…。
- (2) 日常生活の中にある身近な音楽レクリエーションを味わっていただきます。
- (3) つられて楽しい。いつのまにかハモってる。ハーモニーの楽しさをどうぞ。
- (4) 音楽レクの楽しさを倍にするちょっとしたスパイスの紹介コーナーです。「森の熊さん」はなぜ後打ち？「ハロー・ハロー」が歌いやすいのは？俳句はなぜ五七五？では三・三・七拍子は？「赤鼻のトナカイには角がない？などなど…。
- (5) 音楽レク for all。音楽の好きな方はもちろん、苦手な方も大歓迎です。

日時 9月18日(日) 15:30～16:20

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 50名

講師 猿田 重昭 氏(千葉県:千葉県レクリエーション協会副会長兼理事長/レクリエーション・コーディネーター)

公募セッション

25 洗濯物ボランティアのグループ化、組織化、交流

実践事例発表

川崎市内の某特別養護老人ホームを事例に、地域の主婦や高齢者などで、組織されている洗濯物たたまみのボランティアの組織化、グループ化、ボランティア同士の交流などについて、紹介し、考察し、分析する。

日時 9月18日(日) 11:00～11:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 清水 亨桐 氏(神奈川県:レク・インストラクター)

公募セッション

26 「図形パズル」で脳をイキイキ!

実践事例発表

デイサービスやケアハウス、グループホームなどの福祉施設をはじめ、介護予防教室や認知症予防教室、地域のいきいきサロンでも取り入れているプログラムのひとつに「図形パズル」があります。

「図形パズル」は、「どこにどの形が当てはまるか」と思考を巡らせることで、思考力や判断力を刺激し、集中力を高める効果があります。また、図形を完成させたときには、達成感を得ることが出来ます。さらに、認知症を防ぐ脳の機能訓練に有効という報告もあります。

新型コロナウイルス感染予防対策として、パズルを一人一人に配ることで、楽しく脳トレにチャレンジできるプログラムです。

このセッションでは、オリジナルの「図形パズル」を楽しく体験していただきます。また、「図形パズル」の作り方や工夫したことなども紹介します。

日時 9月18日(日) 10:00～10:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 玉木 純一 氏(鳥取県:福祉レク・ネットワーク鳥取/福祉レク・ワーカー/レク・コーディネーター)

公募セッション

27 楽しい!「アタック36」

実践事例発表

テレビ番組「アタック25」と「オセロゲーム」をヒントに思いついたのが「アタック36」です。介護予防教室や地域のいきいきサロンで活用しています。

「アタック36」は、分かりやすく言えば「4チーム対抗のオセロゲーム」です。すべては「さいころの目」に掛かっています。

チームで協力しながら、「どこにコマを置くか」を考えて進めていきます。みんなで夢中になって、大いに盛り上がる楽しいアクティビティです。

このセッションでは、新型コロナウイルス感染予防対策として、特製のゲーム盤やコマを使って、マスクやビニール手袋の着用、間隔を取り、大きな声を出さずに少人数（1チーム2名）で「アタック36」を体験していただけます。

最後に、「アタック36」の作り方や工夫も紹介します。

日時 9月18日(日) 13:00～13:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 24名

講師 玉木 正枝氏(鳥取県:福祉レク・ネットワーク鳥取/福祉レク・ワーカー/レク・コーディネーター)

公募セッション

28 知的障害者がルールを理解して取り組めるスポーツの開発と普及

実践事例発表

知的障害の方がスポーツに取り組もうとした時、個人技能が習得できたとしても、「①ルール理解②対人技能③状況把握からの戦術など」が大きな障壁となります。キックやドリブルは出来てもサッカーのゲームになると、自分で判断してゲームを楽しむのは難しく、混乱している場面に出会います。そんな中、知的障害者がルールを理解して取り組めるスポーツの開発と普及をしようと、パリーテニス（パートナーをラリーを続けるテニス）大会を昨年11月に神戸市あわせの村で開催しました。その過程で見えてきた、知的障害の方が運動を理解・習得し、スポーツを楽しむための過程と課題、支援のあり方などを深めていきたいと思えます。

日時 9月18日(日) 15:30～16:20

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 田中 一行氏(兵庫県:レク・コーディネーター/福祉レク・ワーカー/上級レク・インストラクター)

公募セッション

29 認知症予防そして生活の質の向上のダンス及びプログラムの開発と実践

ワークショップ

新しく開発された介護予防に資する認知証予防のダンスプログラムを体験 習得するセッションです。講義の後、これまでの踊りの流れの解説。そして椅子に座って円座で踊りを踊ります。

BTRDは1978年に日本初の車イスレクダンスを開発し、いろいろなハンディを持った方へのアプローチを続けてまいりました。86年には座位のダンスを開発。その後福祉レクダンスの名前で日本全国に普及していきました。最近では簡単に歌いながら踊る踊りの開発などをしてきました。最近になり認知証予防などの介護予防プログラム(コグニサイズなど)が開発 普及されてきました。それらのエッセンスを取り入れた楽しいダンスプログラムも開発してきました。基本的に手と足それに歌も加えたプログラムです。それにコロナの下で開発された生活の質を向上するプログラムの試みも体験考察し、評価していただきたいとおもいます

日時 9月19日(月・祝) 11:00～11:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 24名

講師 浦江 千幸氏(埼玉県:BTRDチーフプロデューサー/日本ダンスセラピー協会監事/国際音楽療法学院非常勤講師/中級レク・インストラクター)

公募セッション

30

GWT 抗体検査

～G元気の源を、W分かち合い、T楽しいを探る～

ワークショップ

ポストコロナに向けて、レクリエーション支援者が“みんなの心に元気を提供出来ているかどうか”をGWT（グループワーク・トレーニング）の視点からチェックしてみませんか？

有資格者として新しい生活様式に沿った人間交流の場を創造するステップアップのチャンスです。

レク活動展開時のグループや参加者一人ひとりの内面に焦点を当て、「気づき&ふりえり」から学び合い、「楽しさを生む訳」や「また来たくなる理由」を探ります。

人の心を支える力こそ支援力です。仲間とワーク（演習・ゲーム）を通して、支援力を育て、未来を開発するレク人材の育成とは何かの答探しをいたしましょう。

日時 9月19日(月・祝) 10:00～10:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 日本GWT(グループ・ワーク・トレーニング)協会

三好 良子 氏(東京都:日本GWT協会理事/レク・コーディネーター/他)

犬飼 己紀子 氏(長野県:日本GWT協会事務局長/レク・コーディネーター/他)

二階堂 洋子 氏(北海道:日本GWT協会理事/札幌ファシリテーション研究会/他)

公募セッション

31

手あそび、歌遊びでSmile! Smile! Smile!

ワークショップ

コロナ禍で私たちは人と接する事を阻害され、声を出す事も禁止されました。このような生活が二年以上続く中で、多くの人が疲弊し、心身共に不調を感じる様になりました。

人間は孤独には耐えられますが孤立には耐えられません。この状況を打開するために、今こそレクリエーション活動を行っている私たちが周りの人々を笑顔にしていく必要があると私は考えます。日常を取り戻す中で、人が元気になるにはまず笑顔になる事が重要なのではないのでしょうか。

いつでも、どこでも、誰とでもすぐ出来る手あそび、歌遊びを楽しみながら参加者自身が笑顔になり、今度は参加者が周りの方々を笑顔にする、こんなスマイルの輪が広がっていく事を願います。

日時 9月19日(月・祝) 11:00～11:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 千葉 佑 氏(神奈川県:元玉川大学助教/全日本合唱教育研究会顧問/日本音楽著作権協会会員)

公募セッション

32

身近なレク財で、身近な地域への“心元気”活動

実践事例発表

地域にある小さな池(1周500m)の治水工事をきっかけに、「散歩道」というレク財が生まれました。地域住民による「クラブ組織」を立ち上げて、身近な散歩道として地域の皆さんの健康とコミュニケーションづくりを展開しています。その結果、散歩道は地域の皆さんの日常的な活動に繋がり「健康とコミュニケーションづくり」の一助になっています。又、コロナ禍のストレス社会ですが、散歩道は安全・安心で“心元気”を生み出す場所でもあり、ストレス解消に役立っています。活動クラブは、高齢者グループともいえる年代でもありますが、経験(アイデア)豊かな世代でもあります。スタートから10年を経て地域住民の“心元気”を培うため実践してきた「手法」をお伝えします。

日時 9月19日(月・祝) 10:00～10:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定員 30名

講師 澤田 國雄 氏(愛知県:レク・コーディネーター/上級レク・インストラクター/やつば池クラブ代表)

33

1000分の1秒にチャレンジするスポーツスタッキングで「からだ」「こころ」「あたま」の活性化を!

ワークショップ

スポーツスタッキングは、12個のカップを決められた形に積み上げてから崩すまでの速さを競います。体力的な負担が軽く、老若男女問わず達成感を味わうことができ、運動に自信がない人でも気軽に挑戦できます。世界各地でも行われ、日本でも大会や学校や地域のレクリエーション等で取り入れられています。当日は、カップを使用してレクリエーションプログラムで何種類かを体験した後、3-3-3や3-6-3のスポーツスタッキングでタイムに挑戦していただきます。集中力と反射神経で「あたま」、競争心と向上心で「こころ」、協調性と主体性で「からだ」、さらには脳の活性化が期待されます。

日 時 9月19日(月・祝) 11:00～11:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定 員 20名

講 師 山崎 功一 氏(高知県:レクリエーション・コーディネーター)
岩田 理香 氏(香川県:レクリエーション・コーディネーター)

34

4回目の成人式

ワークショップ

あの東村山市で実施している『4回目の成人式「老人クラブ80歳の大運動会」』のイベントと、この事業を継続していくための活動について紹介します。

事業のきっかけは、健康寿命の延伸と老人クラブの活性化の相談でした。

2016年度より3カ年間、数十回の研修の中で「会員同士のコミュニケーション」「適度の運動と脳トレ」「社会参加」の大切さと必要性を伝え続けました。

これら研修の中で会員の意識が大きく変わり、2019年度には老人クラブの活動の目標である「いつまでも楽しく健康に！」を実現できるような新しい事業を実施していきたいと広がり、老人クラブ独自の運動会を312人の参加者で盛大に開催しました。

この運動会を継続して発展させていくことを目的に、2021年度には、老人クラブ会員を対象にした「レクリエーション・リーダー養成講習会」も実施するようになりました。

日 時 9月19日(月・祝) 10:00～10:50

参加対象 興味がある方ならどなたでも

定 員 30名

講 師 飯田 弘 氏(東京都:東京都レク・コーディネーター会会長/レク・コーディネーター/福祉レク・ワーカー/スポーツ・レクリエーション指導者/上級レク・インストラクター)

会 議

a 全国レク・コーディネーター・ネットワーク総会

全国レク・コーディネーター・ネットワークは、通常総会を全国レクリエーション大会において開催しています。今年
は事務局が九州・沖縄ブロックから中四国ブロックに移管されて初めての大会となります。総会では書面参加の方の意見
も反映させて行います。会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

コロナ感染予防の観点から総会後の懇親会は実施いたしません。総会での出会いを楽しみにしております。

日 時 9月18日(日) 17:30～19:00

会 場 研究フォーラム会場【当日掲示】

参加申込先 大会申し込みに合わせてお申し込みください

問い合わせ先 全国レク・コーディネーター・ネットワーク事務局
足立隆博

e-mail koukun@sage.ocn.ne.jp

【当日の連絡先 090-3638-6153】

b 福祉レクリエーション全国集会 ～人と人をつなぐ福祉レクリエーション～

レクリエーションは、すべての人々に平等に与えられた権利であるという考え方を基本に全国福祉レクリエーション・
ネットワークは運動を展開してきました。私たちは高齢者や障がいのある方が、それぞれのニーズに合った活動を行い、
自分らしさを発揮し、仲間を見つけ、生きがいを感じることができるようになりたいと考えています。

この集会では、福祉現場で日頃から行われている実践プログラムの発表や、それぞれが持っているさまざまな情報の交
換が行われます。興味がある方ならどなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

日 時 9月18日(日) 17:30～19:00

会 場 研究フォーラム会場【当日掲示】

参加申込先 大会申し込みに合わせてお申し込みください

問い合わせ先 全国福祉レクリエーション・ネットワーク事務局

e-mail fukurec@gmail.com